



2024年11月7日

各 位

会 社 名 水道機工株式会社
代 表 者 代表取締役社長 古川 徹
(コード番号 6403)
問合せ先責任者 専務取締役 丸山 広記
(TEL 03-3426-2131)

営業外収益及び営業外費用発生に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第2四半期（中間期）連結決算において営業外収益として持分法による投資利益及び営業外費用として為替差損を計上することとし、同個別決算において営業外収益として債務保証損失引当金戻入額及び営業外費用として貸倒引当金繰入額を計上することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 持分法による投資利益、債務保証損失引当金戻入額及び貸倒引当金繰入額計上の背景及び概要

(1) 計上の背景

当社は、持分法適用関連会社である在サウジアラビア国の Suido Kiko Middle East（以下、SKME社、当社出資比率 49%）が締結する工事請負契約に関し、現地金融機関が発行する銀行保証等に対して全額の債務保証を行っております。

当社は、SKME社が請け負った建設工事について、顧客への引き渡しまでの契約上の義務を確実に履行させることが、不測のリスクを回避することに繋がると判断し、現地パートナーとの合意のもとで出資比率に基づく資金支援を行うとともに、当社の債務保証を継続することで、同社が抱える工事案件の完工・引き渡しを順次進める方針としております。

(2) 計上の概要

2025年3月期第2四半期（中間期）において、SKME社では、引き続き契約工事の施工・引き渡しを進めておりますが、長期滞留債権を含む工事代金回収が行われたため売掛金等への引当金に対する戻入が発生したこと、並びに株主による出資比率に基づく資金支援実行を通じて現地パートナーの債務超過額負担が増加したこと等により、当社の債務超過額の負担額が減少しております。

これらの状況を踏まえて、2025年3月期第2四半期（中間期）連結決算においては持分法による投資利益6億34百万円を営業外収益として計上することとなりました。また、同個別決算においては、営業外収益として債務保証損失引当金戻入額8億58百万円を計上するとともに、当社の貸付実行分を営業外費用として貸倒引当金繰入額2億23百万円を計上いたしました。

2. 為替差損計上について

2025年3月期第1四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年6月30日）において、為替差益1億38百万円を営業外収益に計上してはいたしましたが、その後の為替相場の変動により、当第2四半期（中間期）連結累計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）におきまして、為替差損1億26百万円を営業外費用に計上いたしました。

3. 業績への影響

上記に関する2025年3月期第2四半期(中間期)連結決算への影響につきましては、本日公表の「2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)」をご覧ください。

4. 今後の見通し

2025年3月期第2四半期(中間期)末時点で、主要な施工中案件は1件となり、引き続き契約済み工事の施工を継続し、完工・引渡しに向け取り組んでまいります。なお、当社のSKME社に対する未引当の債務保証額は、2025年3月期第2四半期(中間期)末時点で13億30百万円(34百万サウジリヤル。2024年9月末日換算レートベース)となり、未引当の債務保証額が残ることから、今後の業績進捗に伴う債務超過額の増減発生により業績へ影響を与える可能性があります。

2025年3月期通期業績予想につきましては、下期以降における売掛金等の回収状況や手持工事の完工等に向けた原価発生、資金支援の実行等を考慮し、通期業績予想の見直しが必要となった段階で速やかに開示を行ってまいります。当社は、引き続きSKME社の経営管理を強化し、損失額の圧縮並びに債務保証等のリスク極小化に向けて取り組んで参る所存です。

また、為替変動の影響につきましては、変動による損失の発生状況に応じ適時開示を行ってまいります。

以上